

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス 鳥栖教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を活用した支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びの内容を子供たちが興味を持てるように工夫している 簡単な動きで、誰でも挑戦できるようにし、成功体験を積めるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 子供主体で実施できる工夫をしたり、保護者と一緒に楽しむイベントを作って、親子の触れ合いや、他者との交流の機会を作っていく
2	いろんなイベントを行っている	<ul style="list-style-type: none"> 土曜祝日、長期休暇には、イベントを計画している 調理や外出を行っている いろんな教室が集まって行う運動会や、修学旅行の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続してイベントの計画を行っていく 交通ルールを学んだり、危険の予測ができるよう、外出の経験を増やしていきたい
3	子供たちで話し合い、考える機会を作っている	<ul style="list-style-type: none"> イベントの際に、子供たちに意見を出してもらい、何が必要か、どのようにすべきか、みんなで考える機会を作っている 	<ul style="list-style-type: none"> いろんな場面での話し合いの機会を設け、自分の気持ちの伝え方や、折り合いの付け方など、コミュニケーション能力向上につなげていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学年違いによるイベントや遊びの内容の差がある	<ul style="list-style-type: none"> 学年によってできる事や、やりたい事の差が大きい 特に高校生の児童が、低学年の内容には興味を示さない 	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた工夫をする 子供たち同士で話し合う機会を設ける中で、自分たちがやりたい事、出来る事を理解し、実際に取り組める工夫をしていく
2	保護者会等の交流の機会がない	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同伴の運動会などを考えてみるものの、体調不良者がいたりして、計画の立案・実施までに至っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 教室が広くなり、駐車スペースもある程度確保されているため、実施の計画を行っていく 内容によっては、近隣の体育館を借りるなど工夫をしていきたい
3	地域交流の機会がない	<ul style="list-style-type: none"> 時間や職員の調整の都合で、交流の機会をつくることが出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、地域の行事に参加したり、教室に招く機会を作る工夫をしていきたい